

共同企画

共同企画3

日本医療・病院管理学会：医療 CIO（Chief Information Officer）育成の必要性を再び考える。

2019年11月22日(金) 14:50 ～ 16:50 A会場 (国際会議場 2階コンベンションホールA)

[2-A-4] 医療 CIO育成の必要性を再び考える

中川 肇¹、伊藤 弘人²、根東 義明³、蜂谷 明雄⁴、宮本 正喜⁵、合地 明⁶、岡田 美保子⁷、勝山 貴美子⁸（1. 富山大学附属病院医療情報部、2. 独立行政法人 労働者健康安全機構、3. 日本大学医学部、4. MEDIS、5. サニーピア医療保険協会、6. 井原市民病院、7. 一般社団法人医療データ活用基盤整備機構、8. 横浜市立看護学部）

キーワード：Medical CIO, Medical Informatics Special Doctor, Career-Path, Senior Healthcare Information Technologist

医療への ICTの導入が進むに従って、欧米型医療 CIOの必要性が指摘されてきた。本大会においては、第35回大会までに医療[h1] CIOの定義・役割・立ち位置・教育が議論されてきた。CIOについては1) 医療情報システムについて基本的な内容が理解できる。2) 経営論についての基本的な知識がある。3) データ処理について知識がある。4) 新しい技術について知っている。5) PMについての基礎的知識が必要であるとされた。さらに MEDIS-DCや関連学会と協調して認知度を高める検討の必要性が指摘された。

現在、個人情報保護法の改正・次世代医療基盤法の施行・地域医療連携の進展・ビッグデータによる多施設共同研究の進展等、医療情報の保護・管理がますます重要となってきた。そのため今回 MEDIS-DCと日本医療・病院管理学会との共同企画として、今後の進め方等について議論を予定している。具体的には、伊藤弘人先生には地域統合型医療システムにおける医療 CIO像を解説して頂く。根東義明先生には、両学会双方の立場で、経営・質と安全・倫理、チームの視点から医療 CIO像を述べていただく。岡田美保子先生には、研究へのデータ利活用について（次世代医療基盤法と関連する）医療[h2] CIOの関与について問題提起をしていただく。蜂谷明雄先生には、MEDISの立場から次世代医療基盤法の元での研究を遂行する上で必要な病院内における医療情報管理の必要性と医療 CIOの立ち位置について述べていただく。合地明先生には、大学病院から地域の第一線病院の院長に就任された経験に基づいて、病院の機能・規模に応じた医療 CIOの必要性や役割・立ち位置等について見解を述べていただく。宮本正喜先生には、公表されてきた医療 CIOの GIOについて説明と今後の方針を述べていただく。中川 肇先生には医療 CIOは病院執行部から独立性を保つ必要性と医療情報専門医、上級医療情報技師との関連性を述べて頂く。

医療 CIO 育成の必要性を再び考える

勝山貴美子^{*1}、中川 肇^{*2}、伊藤弘人^{*3}、根東義明^{*4}、合地 明^{*5}

岡田美保子^{*6}、蜂谷明雄^{*7}、宮本正喜^{*8}

*1 横浜市立大学、*2 富山大学附属病院、

*3 独立行政法人 労働者健康安全機構、*4 日本大学、

*5 井原市民病院、*6 一般財団法人医療情報活用基盤整備機構、

*7 一般財団法人医療情報システム開発センター、*8 サニーピアクリニック

To Review of the Importance and Significance of raising a Medical CIO

Hajime Nakagawa^{*1}, Kimiko Katsuyama^{*2}, Hiroto Ito^{*3}, Yoshiaki Kondo^{*4}, Akira Gochi^{*5}, Mihoko Okada^{*6},
Akio Hachiya^{*7}, Masaki Miyamoto^{*8}

*1 Toyama University Hospital, *2 Yokohama City University,

*3 Japan Organization of Occupational Health and Safety, *4, Nihon University, *5 Ihara City Hospital,

*6 Institute of Health Data Infrastructure for All, *7 Medical Information System Development Center,

*8 Sunny-Pier Clinic

Through the kindness of the Japan Society for Healthcare Administration, this session was held as a joint symposium to discuss the need for a medical CIO (chief information officer). The GIO and SBOs for the medical CIO have already been proposed. Simultaneously, it was emphasized that the cooperation with other medical societies and/or organizations dealing with medical information was indispensable to persuade the executive members to employ the medical CIO. In this session, therefore, the mile-stone for establishing the medical CIO in the hospital will be discussed from the viewpoint of community medicine, hospital administration, information security and other related fields.

Keywords: Medical CIO, GIO, Medical Informatics Specialist, Data manager, Clinical Research

1. 今回の議論の内容

医療の高度化、医療への ICT の導入が進むに従って、また、医療への IoT、AI の導入が現実化した現在、欧米型の医療 CIO 育成・導入の必要性が指摘されてきた。本連合大会においては、第 36 回横浜での連合大会までに、学会企画として医療 CIO の定義・役割・立ち位置・教育が議論がなされてきた。教育の GIO については 1) 医療情報システムについて基本的な内容が理解できる。2) 経営論についての基本的な知識がある。3) データ処理について知識がある。4) 新しい技術について知っている。5) PM (プロジェクトマネジメント) についての基礎的知識が必要であるとされた。さらに MEDIS-や関連学会と共同して病院経営層などにその認知度を高める行動計画の必要性が指摘された。

この GIO 案については、第 6 版医療情報教科書医学医療編に掲載されている¹⁾。一旦、議論は中断されてきたが、ここ数年の Society5.0 構想、個人情報保護法の改正・次世代医療基盤法の施行・地域医療連携の進展・ビッグデータによる多施設共同研究の進展、IoT や AI の医療への導入等、医療を取りまく環境はめまぐるしく進歩し、病院経営とは独立性を持つ医療情報の保護・管理がますます重要となってきた。また、この間に日本医療情報学会は社会医学系専門医協会に加入した。このため、今学会においては、MEDIS-DC と日本医療・病院管理学会との

共同企画として、これまでの成果を踏まえつつ、今後の CIO の育成方法、各施設への導入の進め方、地域利用連携も視野にいたれた役割等について議論を予定した。

本セッションは、日本医療・病院管理学会および MEDIS との共同企画セッションとして開催する。具体的には、日本医療・病院管理学会から、地域医療連携を主としてご研究の伊藤弘人先生には地域統合型医療システムにおける CIO 像を解説して頂く。日本医療・病院管理学会および医療情報学会の両学会に属され、病院経営、医療安全に詳しい根東義明先生には、双方の立場から、経営・質と安全・倫理、チームの視点から CIO 像を述べていただく。長年、日本医療情報学会の学会長・医療情報技術師育成部会長として、欧米型の CIO 像を模索してこられた岡田美保子先生には、次世代医療基盤法に対応する研究へのデータ利活用について CIO の関与について問題提起をしていただく。MEDIS の蜂谷明雄先生には、MEDIS の立場から次世代医療基盤法の元での研究を遂行する上で必要な病院内における医療情報の管理の必要性と CIO の立ち位置や関与について述べていただく。合地明先生には、大学病院から地域の第一線病院の院長に就任された経験に基づいて、病院の機能・規模に応じた医療 CIO の必要性や役割・立ち位置等について見解を述べていただく。CIO 育成のための GIO、SBO の立案を主導された宮本正喜先生には、これまでの議論の経緯とともに公表

された CIO の GIO、SBO s（案）について説明と今後の方針を述べていただく。オーガナイザーである中川 肇は CIO は病院執行部から独立性を保つ必要性、CIO と今後養成が予定されている社会医学系専門医の第二階層目に位置づけされる医療情報専門医、上級医療情報技師との関係を述べる。

また、この問題は、病院の経営層に CIO の必要性・意義および CIO ポジションの確保を理解してもらわないと CIO 育成後の進展はないので、今後とも関係学会・団体と共同してのアクションが必要なことを演者全員で意識をあわせたいと思っている。

さらに、日本医療・病院管理学会側の座長である勝山 貴美子先生には、適宜、コメントをいただき、学会共同セッションとしてこそ可能な有意義な議論を行いたい。

参考文献

1) 宮本正喜. 病院の情報管理者(医療 CIO). 医療情報「医療情報編」. 篠原出版新社, 2019:80-2.